



今年度もよろしくお願ひします

家族会会長 宮田美輪 (宮田 道思 母)

令和4. 383号

【つくし園】

〒791-8041

松山市北吉田町

77-34

TEL(089)951-5331

FAX(089)951-5348

令和四年度がスタートしました。今年度も家族会ではコロナ禍の現状でできることをお手伝いしていきたいと思っています。現在はグループホームから登園する利用者さんが過半数になりました。生活スタイルの変化に伴い、家族会からの支援も変えていく必要があると考えています。皆様の「理解・」協力をこれからもよろしくお願ひいたします。

さて、私の猫好きは皆さんに知られているところかもしれませんが、実は相撲好きでもあるのです。相撲というと体格の大きく違う力士が一对一でぶつかる、ある意味無謀なスポーツではありますが、小兵の力士が大きな力士の足を持ってクルクルと回り、ついには土俵際まで押しやり勝ってしまうこともある(先場所の翔猿 対 逸ノ城)など、観ているだけで楽しめます。また、私が高校生の頃に現役だった力士が今では立派な親方となり解説しているのを聞いたたり(琴風→尾車親方)、金星をあげてインタビュールームに來ている力士の話聞くのも楽しみです(玉鷲や阿炎)。

先日、道思が急に「お相撲する」と言うので何かと思えば、「アソビアソビ」と言うて両手でテーブルをたたきました。そうか紙相撲のことか、と軽く「そつやね」と答えて受け流したのですが、この言葉が指していたのはその時食べていたおやつチョコパイ。パッケージの裏に「チョコパイ土俵」とネコ力士、クマ力士が印刷されていました。これを制作して紙相撲で遊びたいと言っていたのです。早速組み立てて、猫錦 対 熊の湖の取り組みを始めます。私は本格的に呼び出しを行ったのちに力士役になるも、すぐに負け勝った猫錦、もとい道思は力水をつけて退場します。「もう一回やるっ」と問いかけると「即」やらない「…… 勝ち逃げです。みなさんもチャンスがあれば紙相撲してみてくださいなさい。次の大相撲は五月の夏場所。力士の皆さんに怪我が無いよう祈りながら、観戦するのが今から楽しみですよ。

最後になりましたが、皆様今年度もよろしくお願ひします。



5月の開園日



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

21日土曜日は開園日です。



『今回の道思の絵は猫と花しょうぶです。』
とのことで、上記の記事に合わせて道思さんの描いた絵をご持参くださいました。どうぞみなさんもこの絵に癒されてください。

ありがとうございます☆

つくし園家族会さまに
・食堂西側壁のクロス張り替え
・車椅子のまま測れる体重計の購入
をご負担いただきました。
汚れや破れの目立った壁が明るく清潔になり、
昼食もより気持ちよくいただけます。
体重計も安全に正確に計測できるようになりました。ありがとうございます。

5月の行事予定

- ・10日(火)・・・誕生会
- ・27日(金)・・・焼肉パーティー
- ・30日(月)・・・月末大掃除
- ・31日(火)・・・避難訓練

開園記念祝い 33周年



乾杯！！



感染症対策で黙食が習慣になり、静かな会食になりましたが、新しい生活様式にも慣れてきて、おいしくいただきました。

4月28日木曜日
つくし園にて開園記念祝いの会を開きました。平成29年4月に開園したつくし園も見守って下さるみなさまのおかげで33年目を迎えることができました。

そして、もちろん毎日通ってくださる利用者の方々があってのつくし園です。そのみなさんと一緒に楽しいひと時を過ごすことができるように準備してきました。

まずは永井園長の挨拶、そして利用者最年長の加藤さんが音頭をとって乾杯です。『御料理 月白』の仕出し料理にみなさん箸が進みます。

ジュースやコーヒーなど好きな飲み物を選んでもらいましたがやっぱり一番人気はコーラでした。ビールを飲んで気持ちよくなっている方も。



がんばるぞー！

食後は恒例になりつつある『風船パラバルーン』をチーム対抗で行いました。

4チームがいかに早くシートから風船を全て落とせるかを競います。見ている方は色とりどりの風船が青いシートに映えてきれいなのですが、やっている方は真剣！必死！の勝負です。

勝ったチームはバンザイの声と拍手で大盛り上がりでした。

そのあとはみなさんお待ちかねのくじ引きです。テーブルに並んだ景品を見つめ、自分のお目当ての品をロックオン。

引き当てたくじの番号順に好きな景品を選べるシステムです。利用者の方々の好みを思い浮かべながら用意した景品を「やっぱりこの方がこれを選んでくれた！」となると、もらった利用者の方の喜ぶ姿に、用意した支援者もまた、笑顔になります。

さあ、また新たな1年です。つくし園の歴史にみんなの笑顔を増やせますように。



文責： 阿部秀人・小松宴江